

第4学年2組 学級活動指導案

- 1 題材 「どうして学ぶのかな ～自分の夢と、学ぶこと～」
 学級活動（3） ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

2 題材設定の理由

本題材は、学級活動「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容「ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」として計画した題材である。この内容の「学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。」の前半部分について取り扱う。

学習指導要領解説特別活動編では、この内容において育成を目指す資質・能力の例として「学習することの楽しさや価値に気づき、学習の見通しや振り返りの大切さを理解したり」するなど「学ぶことが将来の自己実現にどうつながっていくかについて考えたりして、主体的に学習することができるようにすることなどが考えられる」とある。

そこで、児童一人一人の「将来の夢」と現在の学びとのつながりを考える本題材を設定し、学ぶことの意義について考えるとともに、学ぶことが自分の将来につながっていくことを感じることで、主体的に学んでいこうという意欲につなげていくことができると考えた。

また、学級活動（3）の内容については、「キャリア教育の視点からの小・中・高等学校のつながりが明確になるよう整理することによって設けられた」とある。更に「小学校におけるキャリア教育は学校教育全体で行うという前提のもと、これらの学びや自己の生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、教育活動全体の取組を自己の将来や社会につなげていくための要として、特別活動を位置付けることとなった」という記載もある。その点から考え、千葉県教育センター発行の「改訂キャリア教育ガイドブック2018」に記載されているキャリア教育を通して育てる四つの基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の中で、特にキャリアプランニングに関わる学習として本題材を設定した。

※キャリアプランニング能力とは「将来を設計する力」。将来を見据え、常に目標をもって学ぶことができる。学んだことと職業との関連を考えることができる。

（「改訂キャリア教育ガイドブック2018」）

3 第3学年及び第4学年の評価規準 【自己実現】

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
将来の社会的・職業的な自立と現在の学習との関わりについて理解している。	将来を見通して自己の生き方を選択・形成するために、自己のよさや可能性を生かし、自己の在り方生き方を考え、意思決定している。	現在および将来の自己の生活の課題を発見し、目標を決めて取り組み、自己の可能性を開こうとしている。

4 本題材のねらい

学ぶことと自分の将来とのつながりについて理解し、進んで学ぼうとする意欲を高める。

5 研究主題との関わり

研究主題

「自主的、実践的に活動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」

～ 主体的・対話的で深い学びを見据えて ～

研究目標

学級活動等の集団活動に自主的、実践的に取り組む態度を育成するとともに、育てたい資質・能力を明確にし、新学習指導要領で重視される「主体的・対話的で深い学び」につながる指導の在り方を探る。

研究仮説（1）

学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的、実践的態度が育つであろう。

研究仮説（2）

学級活動等の集団活動において、課題の設定・確認、解決方法の話合い、解決方法の決定、決めたことの実践、振り返りまでの一連の過程を「実践」と捉え、目指す資質・能力を明確にしたうえで意図的・計画的に指導に当たれば、深い学びにつながるだろう。

本授業では、仮説（1）についての検証を試みる。

仮説（1）について

学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的、実践的態度が育つであろう。

○研究の視点（1）主体的な課題の設定や学習過程のとらえ方

本題材では、児童一人一人が将来の夢と現在の学びの実態をつないで考えることで、これまで消極的であった学びに向かう態度を個々にどのように変えていくか、意思決定をしていく。

本学級ではアンケートで調査した時点で25名中22名が将来の夢として具体的な職業を挙げている。まず、それらを知ることで、一人一人異なる「夢」がありそれぞれの夢のよさがあることや、一人一人のよさが生かされていることに気付くことができるだろう。このことにより、自己肯定感を高めた上で学習を進める。

また、夢と学びのつながりを考える際に小グループで考える時間を設けることで、夢は違っても同じような学びが必要であることに気付くことができるのではないかと考える。

意思決定の場面では、イメージマップにまとめたこと、話し合ったことを基にすることで、考えをまとめやすくしていきたい。「家族に言われたから」学ぶ、「大人になって困るから」学ぶのではなく、自分の将来の夢と現在の学びをつなぎ合わせることで、「自分がこうなりたいからこんなふうに学んでいきたい」という意識をもたせられるようにしていきたい。

○研究の視点（2）多様な他者と協働する対話的な学びを充実させる手立て

本時の中で、自分の将来の夢と現在学んでいることとを関連付ける活動を行う。個人で考えることから始めるが、友達と伝え合ったり小グループで一緒に考えたりする場を設けることで、より考えが出や

すくなるようにする。

まず、個々にイメージマップ化することで、一人一人が「将来の夢」の実現に向けて、現在学習していることの中で関連している教科などを見付け出す。

次に、小グループでイメージマップを見せたり自分の考えを聞いてもらったりしながら伝え合う。この伝え合いの中で考えが整理されたり、自分では思いつくことができない児童がアドバイスをもらうことで関連する教科や内容を見付けたりすることができるようにしたい。

また、友達との伝え合いの中で、自分では十分に見付けたと思っていたのに考えてもいなかった教科や内容とのつながりを見付けたり、異なる職業でも共通の教科や内容が関連していることに気付いたりすることができるれば、より、将来の夢と現在の学びとのつながりを意識できるのではないかと考える。

そして、もしこの先、将来の夢が変わったとしても、現在学んでいることは同じように新しい夢にもつながっていくことにふれることで、学習への意欲を高めることができると考えている。

6 事前の指導

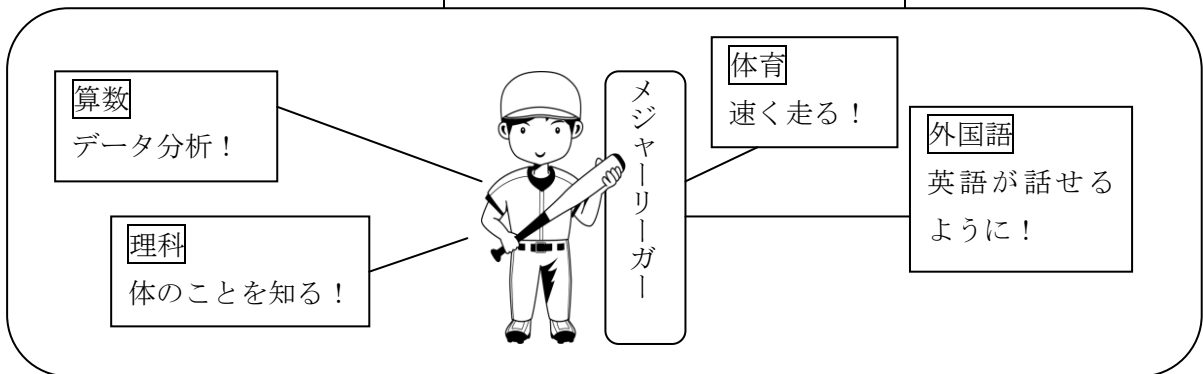
児童の活動	指導上の留意点
○総合的な学習の時間に、「将来の夢」アンケートに自分の夢について書く。	○「2分の1成人式」に向けて、将来について考える計画があることを知らせる。 ○将来の夢が漠然としている児童に対しては、相談の時間をもち、ある程度絞らせておく。

7 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
つかむ	1 自分の夢について想起する。 ○総合的な学習の時間に行ったアンケートに書いたことを確認する。 ・僕は、メジャーリーガーになりたいです。 ・私は、幼稚園の先生になりたいです。 ・災害でこわれたお寺を直す人になりたいです。	・事前の活動で、自分の夢についてのアンケートを実施し、夢を想起できるようにする。 ・全員の夢を一覧にして掲示することで、多様な夢があることに気付くことができるようにする。 ・アンケートで、なりたい職業を書いていなかった児童には、事前に職業の候補を伝えておく。 → 「宮大工」	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> どうして学ぶのか 自分の夢とつなげて考えてみよう </div>		
さぐる	2 自分の夢を実現するためには、どのような学びが必要かを考える。	・現在、学習している教科など、学校での生活や活動を中心に考えることを知らせる。	

○例に挙げた夢の実現にはどのような教科などが関連しているかを全体で考える。

- ・野球選手だから、体育は関係あるね。速く走ったり投げたりするから。
- ・メジャーってことはアメリカだから、英語が話せないと。
- ・意外に算数も必要だよ。何割何分何厘ってあるから。



○板書を参考にしながら、自分の夢の実現には、どのような教科などが関連しているか考え、イメージマップに書く。

- ・外国で活躍するためには、英語が必要だ。
- ・社会科でいろいろな国について知るのも大事だ。

3 考えたことを生活班の友達と伝え合う。

- ・対戦相手のデータを分析する力も必要だから、算数は？
- ・国語は？ レシピを読む力も必要だよ。

・自分の夢の実現に向けて、どの教科のどのようなことが関連するかを考え、イメージマップに表せるようにする。

・さまざまな教科などに関連することに気付かせる。

・友達と伝え合うことで、更にイメージマップに書き加えられるように話合いの場を設定する。

見
付
け
る

4 自分の学び方について考え、気付いたことを発表し合う。

- ・今までは自分から進んで取り組んでいなかったけど、夢につながるのだから、もう少しがんばろうかな。

・現在の学びが、自分の将来の夢につながっていることを意識することで、課題に気付けるようにする。

【知識・理解】
将来の社会的・職業的な自立と現在の学習との関わりについて理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の学習が、夢につながると分かったから、苦手な教科でも、がんばってみたい。 ・料理人になりたいから、来年の家庭科をがんばりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できていない部分にだけ焦点を当ててではなく、夢へつながるような前向きな気付きになるように助言する。 	
決める	<p>5 自分の夢を実現するために、これからどのようにがんばりたいか、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の時間が苦手だけど、メジャーリーガーになりたいから、自分からどんどん声を出して言う。前で言えるようにしてみる。 ・お店をもった時に、おすすめの品を自分で書いて知らせたいから、漢字をきれいに書けるように毎日、練習する時間をつくってみる。 ・あまり自分からあいさつをしていなかったけど、幼稚園の先生になったつもりで、他の学級の人にも自分から元気にあいさつをしよう。 <p>6 友達と、互いにがんばりたいことを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方をどのように変えていきたいのか、一人一人頑張りたいことを、ある程度具体的に意思決定できるように、助言する。 ・頑張りたいことを数名、全体に伝えてもらう。その際に、頑張ろうとする意欲を称揚することで、全員が自分の頑張りたいことを肯定的に捉えられるようにする。 ・友達に頑張りたいことを知らせ、励まし合う場を設ける。 ・将来の夢は変容するものだが、学んでいることは何らかの形で関連していることに気付かせる。 	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のよさを生かし、将来とのつながりを意識して、学び方や行動について、これからどうしていきたいか、意思決定している。

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の立てためあてや取り組みなどが実践できているか振り返り、ワークシートに記入する。 ○新たに見つけた取り組みをワークシートに書き加えたり、実践できたことを掲示コーナーに貼ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なめあてや取り組みが実践できているかを振り返ることで、継続していけるようにする。(毎月末行う後期のめあての振り返りの時間を活用する。) ○取り組みの様子を視覚化することで、継続する意欲を維持できるようにする。 	<p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めためあてや取り組みの中で、これまでの自分との変容を意識し、継続して実践しようとしている。

